

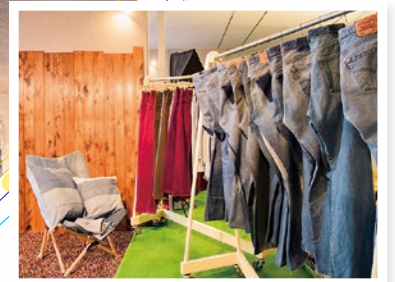
ふくしま ★ゆめ ★トライ

福島県内で夢に向かって
新たなチャレンジをしている方、
地域を盛り上げるために
頑張っている方を紹介します！

アップサイクルで 故郷に新しい価値を与えたい

YONOMORI DENIM ストアマネージャー

こぼやししゅう
小林 奨さん (富岡町)



リーバイス 501 のリメイク商品をはじめ、
コースターやバッグなど雑貨も販売して
います。

元々はバーチャルゴルフ場だった物件を
2カ月でリノベーションしてオープン。
中央にはデニムタワー、帽子やバッグなどが
レイアウトされています。



アパレル会社の販売員をしていた小林さん。「お客様からありがとうと直接
言っていただけた時に喜びを感じます」

富岡町夜ノ森地区出身の小林
さんは、故郷でアップサイクル
(捨てられるものに新たな価値を
つけて生まれ変わらせること)に
取り組むアパレルショップのス
トアマネージャーです。中学3年
生の卒業式当日に東日本大震災
を経験し、その後県外の高校を卒
業。服飾の専門学校へ進み、都内
のアパレル会社に就職したもの
の、片時もふるさとを忘れたこと
はなく、一時帰宅するたびに、人
がなくてさびしい地元を何と
かしたいと思っていたそうです。



夜ノ森駅から徒歩約1分と好立地にある店舗。
白い壁は自ら塗装しました。

〒富岡町本岡字清水前122-17
☎0240-23-5495

そんな折、富岡町で会社を経営し
ている方と出会う機会があり、そ
の方のアドバイスにより地元で
起業することを決意。「協力会社
の『株』ヤマサワプレス』が廃棄
前のデニムをリメイクします。そ
れを弊社が仕入れ、全国初の代理
店として販売しています。アップ
サイクルは震災から新たな姿に
生まれ変わろうとしている故郷
の姿と重なります」と小林さん。
店舗は2022年11月にオー
プン。メディアにも取り上げられ
遠方から足を運んだ方もいたそ
うです。今後は縫製の機械を導
入し、量産体制を築くことで地元
雇用に貢献したいとのこと。地
元のアップサイクル実現のため、
小林さんの挑戦は続きます。



読者から
の
お便り

「ふくしまゆめトライ」で「厄介者」のヒソを「人気者」にする取り組みを知りました。このような取り組みが広がれば、
新たな魅力の創出につながると思います。(20代 二本松市)

2024年
2月号

